

## “家庭学習を充実させるためのタブレット貸し出し” についてのご案内

私たちは、縁あってビクトリーに来てくれている生徒の成績を上げるために、どのように指導したら良いのか日々悩んでいます。できる限り生徒一人一人に寄り添い、生徒のために何ができるのか、どうしたら自主性を持って前向きに勉強に取り組んでもらえるのか、常に考えながら指導にあたっています。

まず、塾での授業態度を良くしてもらうことが第一ですが、塾での学習時間だけでは、入試の5教科を学ぶにはとても時間が足りません。

当然家庭での学習、特に教えたことを身につける復習が必要です。

宿題も毎回出していますが、なかなかしてもらえません。

塾では、各教科の学習単元を学校で習うよりもかなり早くから教えています。

定期テストまでに、教えたところはどんどん自主的に復習をして、繰り返し学習をしながら自分の身につけていって欲しいです。

そのための宿題なのですが、一斉に教え終わっても、理解ができているかどうかは個人によって違います。当然宿題でやれる内容もそれぞれ違います。

基本的には、教えたところは各自がそれぞれテキストのできるところを見つけて、できるだけ宿題としてやってくるものだと思います。

私たちは、“宿題をしていないから先生に怒られる、塾に行きたくない”ということは避けたいので、あまり厳しく叱りませんが、塾だけの勉強では成績を上げられないのは事実です。

中には、無理やりでも叱ってでも宿題をやらせて欲しいと思われる保護者もおられるかもしれませんが、それは不可能です。自主的にやる気がないと、答え

を写しても何の意味もありません。ましてや難しい、こんなのやりたくないという気持ちがあればなおさらです。

最近 YouTube で、全国の心ある優秀な先生が、とても分かりやすく解説してくれている動画が多数あり、塾生の学習に役立つと思うものは塾で見られています。子供たちも一生懸命見てくれるので、できれば家庭学習にも役立っていきたいと思うようになりました。

動画はしっかりと解説をしてくれて、何度でも繰り返し自分で納得できるまで学習することができます。その上で、わからないところは塾でわかるまで質問して欲しいです。塾ではしっかり理解できているかどうか、確認のテストを行います。

幸い塾長はパソコンが得意なので、生徒の学習状況に応じて教科ごとのまとめサイトをつくり、必要な動画をすぐに取り出せるようになりました。

最近はやとりの時代とは異なり、学習内容も本当に難しくなり、覚えることも盛りだくさんです。どうかご家庭でも動画を活用して日々の学習習慣を身につけていただきたいと思います。

ご家庭の皆さんのご協力、どうかよろしくお願いします。

中学生の各教科に対する私たちの考えです。

## □英語について

2021 年の教科書大改訂により、英語は他の教科にも増して難しくなりました。それまで高校入試に必要な英単語は、1000 語から 1200 語だったのが、一気に 1800 語になりました。

文法も 1 年生には be 動詞、一般動詞、疑問文、否定文、複数の S、三人称単数の S、進行形、過去形と順番に教えていましたが、その順番が崩れ、1 年生から学年に関係なく色々な文法がドンと出てくるようになりました。

教科書のページ数も大幅に増え、「ユニット」の他にも「レッツリード」ではかなり難しい文章がたくさん出てきます。教科書の内容を教えるだけでも大変なのに、定期テストでは教科書以外の内容が多数出題されます。

こうなると、テスト前だけの勉強では全く間に合わず、必要とされるのは真の英語力です。

私たちも従来の教え方ではテスト対策ができないので、常日頃から英単語をどんどん覚えてもらい、文法も学校で習うよりもかなり前から教えています。

また、英単語や文章、文法事項にも増して頑張らないといけないのは、リスニングの力をつけることです。

京都府の公立高校の英語の入試は全国的にもかなり難しく、リスニングと長文に重点を置いています。基礎は何とか理解しているぐらいの力では、全く点は取れません。今のうちから対策をしておくべきだと思います。

今、ビクトリーでは授業のたびに英単語の発音をひとりひとり聞いて、発音できない単語には × のチェックをしています。

英語は勉強である前に言葉です。単語が読めない、意味がわからないでは、当然文章も読めない、意味がわからない、文法を説明しても全く理解できないということになります。要するに、単語が読めない、意味もわからない状態では、英語の勉強は何一つできないということです。

そこで、ご父兄の皆様にお願ひがあります。どうか家で毎日英単語の動画を見させてください。そして、動画の発音を聴きながら実際に発音してもらってください。

発音と綴りの関係がわかるフォニックスの動画も、ぜひ見てもらってください。どうかよろしくお願ひします。

#### □ 数学について

最近の定期テストの数学は、応用問題がかなり出題されます。

問題数もとても多いので、1問あたりにかけられる時間が限られています。

問題を前にして、解き方を考えている時間はほとんどありません。特に計算問題は、なるべく早く正確に解かなければなりません。応用問題に関しても、日頃からいろんなパターンをたくさん解いて、テストの時にはすぐに解き方がわからなければなりません。

ビクトリーでは、各教科とも学校よりもかなり早く学習内容を教えています。

テストまでに何度も繰り返し学習するのですが、一度教えたことがその場では解けるようになっていても、後の復習をしてもらえないので、少し間が空くとすっかり消えてしまっていることが多々あります。理解できたことは、自分の身につけるという作業を、ぜひ家庭学習で行ってほしいです。

## □国語について

国語の読み取りの力は、全ての教科の学習を支える土台です。

もちろん読解力をつけていかないといけないのですが、これは簡単にできることではありません。漢字に強く、語彙が豊富で、イメージを膨らませながら意味をしっかりとつかむ読み方を、日頃からしていく必要があります。

塾では漢字を覚えたり、語彙を増やす時間はほとんど取れないので、どうかご家庭で動画を活用して、国文法も含めて国語の力を養ってもらいたいです。

## □理科・社会について

理解すべきこと、覚えるべきことが山のようにあります。

定期テストの直前に、テストの点を取るためだけの勉強をする生徒もいますが、そのような勉強のしかたでは、テストが終わるとすぐに覚えたことを忘れてしまい、何も残りません。何度も繰り返し学習をして、しっかりと身につける習熟の学習をしてもらいたいです。

最近塾で個人のペースで動画を見て学習してもらい、ある程度理解して覚えられたら、確認のテストを受けてもらうということをしています。

次のテスト範囲は早めに学習し、繰り返し身につくまでの反復練習をしていきたいと考えています。

家で動画を見て勉強してくることも宿題にしていきますので、どうぞよろしくお願ひします。

## 小学生のタブレット活用について

小学生も授業や家庭学習でタブレットを活用しています。

動画に合わせて漢字の音訓ソングを歌ったり、英単語をみんなで発音したりしています。また月や星の動き、太陽系の惑星の動画を見るなど、いろんなことに興味を持ってもらい、知的好奇心を高めて学力を伸ばしていく工夫をしています。

先日もみんなで都道府県当てクイズの動画を見ていたら、都道府県の形を一瞬見ただけでほとんどの都道府県を当てたり、特産品や特色をしっかりと覚えて驚きました。

国語も学年を超えていろんな漢字を覚えたり、慣用句、ことわざも興味をもってどんどん覚える生徒もいます。地理や歴史、算数の応用問題、各教科の中学受験用の内容もいくらでも学習することができます。

特に英語はアニメーション動画で楽しく学べて、ネイティブの発音に慣れてリスニングの力を身につけることができます。もちろん学校の授業で習う英語も学べます。小学生のうちに楽しく、フォニックス（発音やつづりの関係）、英単語、英語の重要表現、英検対策などしっかり英語の基礎を身につけて欲しいです。

最後に、私たちは子供たちに無理やり勉強させることはしたくありません。

子どもたちを勉強嫌いにさせたくないからです。

テストで1点でも成績を上げるためにストレスを抱えて勉強し続けると、脳はどんどん萎縮してしまいます。そうではなく、子供たちには少しでも楽しく、生き生きと学習してもらいたいです。

楽しいことをすると、脳がどんどんと活性化して、知的好奇心が高まります。  
学ぶこと本来の楽しさを知って、生涯学び続ける習慣が身につくと、大人にな  
ってもこの厳しい世の中をたくましく乗り越えていけると考えています。